

## 【別紙2】 オゾンファインバブル水の安全性試験の例

### ・滅菌装置用オゾンファインバブル水の安全性検討

(ヤマト科学、産総研等によるAMED受託研究)

開発中の滅菌装置に使用するオゾンファインバブル水について、ヒト3次元培養表皮モデルを用いた皮膚影響評価を一般財団法人食品薬品安全センターに依頼し、安全性を評価しました。その結果、毒性的な影響は認められませんでした。

※本研究は、AMED の課題番号 JP17he1302021h0003 の支援を受けました。

[https://www.med-device.jp/pdf/development/vp/27-056\\_28.pdf](https://www.med-device.jp/pdf/development/vp/27-056_28.pdf)

### ・歯科治療用オゾンウルトラファインバブル水の安全性検討

(東京医科歯科大学、産総研の共同研究)

オゾンによるウルトラファインバブル処理水について、ヒト口腔上皮・粘膜3次元モデルを使用した細胞毒性試験を実施した結果、毒性的な影響は認められませんでした。

Sci. Technol. Adv. Mater. 15 (2014) 055003 (7pp)

<注意事項>これらの安全性データは研究段階のものであり、ファインバブルの安全を保証するものではありません。ファインバブル発生機器の目的外使用はしないでください。魚類等の水生動物にファインバブルを供給する場合は、ガス供給が過剰になる恐れなども懸念されるため、専門家に相談してください。